

参考配布

令和元年8月30日

【照会先】

職業安定局 需給調整事業課

課長 松原 哲也

主任中央需給調整事業指導官 松浦 大造

課長補佐 富田 英晴

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 5335、5324)

(直通電話) 03(3502)5227

## 労働者派遣法違反に係る告発について

標記について、広島労働局から別添のとおり告発の実施に係る発表を行った旨の連絡がありましたので、配布いたします。

なお、別添は、広島労働局が配布した資料です。



広島労働局発表  
令和元年8月30日（金）

【照会先】  
広島労働局職業安定部需給調整事業課  
課長 林 雅夫  
課長補佐 市山 徹  
主任需給調整指導官 坂根紀雄  
(代表電話) 082 (511) 1066  
(F A X) 082 (511) 1185

報道関係者 各位

### 「違法派遣」の疑いで告発

広島労働局【局長 川口達三（当時）】は、平成31年1月7日、下記の者を労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律(以下「労働者派遣法」という。)違反の疑いで、刑事訴訟法第239条第2項の規定に基づき、広島県呉警察署に告発した。

#### 第1 被告発人

- ① 谷口工業株式会社  
(所在地 広島県呉市音戸町波多見 10 丁目 17-3)
- ② 同社代表取締役 A (45 歳 男)

#### 第2 罪名及び罰条

労働者派遣法違反  
同法第5条第1項（無許可派遣）  
同法第59条第2号(罰則)  
同法第62条（両罰規定）

#### 第3 告発の事実

被告発人は、上記所在地に本店を置き、主として他社の構内で機械のメンテナンス、機械の組立等の作業を行う事業者であるが、労働者派遣法第5条第1項に規定する、厚生労働大臣の許可を受けることなく労働者派遣事業を行った疑いがある。

#### 第4 事案の端緒等

平成30年3月7日、広島市安芸区船越南1丁目にある株式会社日本製鋼所広島製作所構内において、射出成形機可動装置内部に入り、射出成型機のモーター交換作業のため、射出成型機内部で作業を行っていた被告発人の労働者である被災者Bが、落下した当該可動装置に挟まれ死亡する災害が発生した。

**【参考】**

○労働者派遣法(抄)

**【用語の定義】**

第2条 この法律において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 一 労働者派遣 自己の雇用する労働者を、当該雇用関係の下に、かつ、他人の指揮命令を受けて、当該他人のために労働に従事させることをいい、当該他人に対し当該労働者を当該他人に雇用させることを約してするものを含まないものとする。

**【労働者派遣事業の許可】**

第5条 労働者派遣事業を行おうとする者は、厚生労働大臣の許可を受けなければならない。

第59条 次の各号のいずれかに該当する者は、1年以下の懲役又は百万円以下の罰金に処する。

- 二 第5条第1項の許可を受けないで労働者派遣事業を行った者

第62条 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に関して、第58条から前条までの違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対しても、各本条の罰金刑を科する。

○刑事訴訟法(抄)

**【告発】**

第239条

- 2 官吏又は公吏は、その職務を行うことにより犯罪があると思科するときは、告発をしなければならない。

**【告訴・告発の方式】**

第241条 告訴又は告発は、書面又は口頭で検察官又は司法警察員にこれをしなければならない。

**【告訴・告発を受けた司法警察員の手続き】**

第242条 司法警察員は、告訴又は告発を受けたときは、速やかにこれに関する書類及び証拠物を検察官に送付しなければならない。